

大阪維新の会 大阪府議会議員

# 中司宏

なかつか ひろし



## このまちの未来を守るために――

東西二極の一極を担う「副首都・大阪」の実現をめざし、ようやく見えてきた大阪発展の兆しに弾みをつけると同時に、市制施行70周年の節目を迎えた枚方のまちづくりを加速するため、平成29年度も松井知事とともに、全力で取り組んでまいります。

府は、今年を「世界に打って出るスタートの年」と位置付け、まず万博の誘致に力を注ぎ、夢洲をはじめ大阪湾ベイエリア等の整備・活性化を推進する一方で、「暮らしの中で豊かさを実感できる大阪」に向けて健康・福祉、教育・子育て支援をはじめ様々な施策を展開します。

私たちの枚方では、新名神高速道路、(仮称)枚方新大橋、京阪電鉄高架化、枚方市駅前再整備など都市インフラの整備を府と市がしっかりと連携して推し進めます。

私も、引き続き大阪維新の会府議団の一員として、質問や提言を通して政策立案などに携わり、枚方の施策推進に向けて府とのパイプ役を果たし、また、地域の身近な問題の解決にも奔走してまいります。

国、府、市、それぞれに課題が山積する厳しい時代の中で、生まれ育った愛する枚方の未来を守り、大阪の明日を切り拓くため、そして、明るく豊かな日本を築いていくため、たゆまぬ改革と実行ある政治を貫いてまいります。

### 中司宏 なかつか ひろし プロフィール

**昭和31年3月** 枚方市に生まれる  
うみのほし幼稚園、枚方市立殿山第二小学校、枚方市立第三中学校、大阪府立寝屋川高等学校、早稲田大学第一文学部を卒業

**昭和54年4月** 産経新聞社に入社  
京都支局を経て東京本社政治部記者  
中曽根首相番記者、参議院担当、自民党田中派、竹下派担当などを歴任

**昭和62年4月** 大阪府議会議員初当選(自民党公認)以来連続2期  
文教委員長、自民党枚方支部長などを歴任

**平成7年4月** 枚方市長に初当選(39歳)12年間市長として市政の発展に努める  
この間、大阪府市長会会長(2期)、全国青年市長会会長、環境自治体サミット代表、道路整備促進期成同盟会全国協議会会長などを歴任

**平成21年12月** 柏原市長づくり戦略会議議長として事業仕分けなどを担当(平成22年11月まで)

**平成27年4月** 大阪府議会議員当選(3期目)  
現在 総務常任委員会委員  
大阪維新の会府議団幹事  
大阪府議会私学振興議員連盟会長  
大阪府議会日露友好親善議員連盟会長

## 府議会2月定例会 万博開催で大阪の成長を促進

大阪府議会平成29年2月定例会は2月24日に開会し、冒頭、松井一郎知事が新年度の府政運営方針を説明。またこの日、府議会議員の議員報酬30%カットを任期中継続する議案を可決しました。各会派代表質問、一般質問に続き、各常任委員会で総額3兆866億円の平成29年度一般会計予算案などを審議し、3月24日に閉会しました。

今議会は、恒例の日本センチュリー交響楽団による議場コンサートで和やかに開幕。松井知事は、府政運営方針の説明の中で「大阪が変わる。大阪から日本を変える。大阪から世界へ発信する」との考えのもと、「副首都大阪」の実現をめざして2025年大阪万博の誘致を通じ、大阪・関西を健康医療の拠点として発信▽高速道路・淀川左岸延伸部、リニア中央新幹線など都市インフラを充実▽南海トラフ巨大地震対策など防災・減災の強化や治安の向上▽待機児童の解消や子どもの貧困対策など、子育て・教育環境の整備▽副首都に相応しい大都市制度のあり方を検討する法定協議会の設置――などを重点に取り組み、「暮らしの中で、豊かさを実感できる大阪」の実現をめざすとともに、本年を「世界に打って出るスタートの年」にしたい、と強調しました。



代表質問に立つ鈴木幹事長

知事の府政運営方針等に対する各会派代表質問は3月1日～3日に行われ、大阪維新の会議員団から鈴木憲幹事長が代表質問に立ち、府政を推進する立場から、知事はじめ理事者の考えを質しました。

3月6日～8日の府政全般に対する一般質問に続き、10日からは各常任委員会で、知事から提案された平成29年度予算案をはじめ、大阪都構想の制度設計を協議する法定協議会の設置議案など156案件の審議を行いました。大阪万博の関連予算は、官民による誘致委員会の事業費や、会場となる夢洲への交通アクセスの調査費など3億9000万円、国際都市大阪の発展をめざし、2025年の大阪万博開催に向けた本格的な誘致活動が始まります。



議場コンサートで和やかに開幕



府政運営方針を述べる松井知事

### 府政に対する意見交換会

枚方・交野の事業推進に向けて

大阪維新の会府議団では、平成29年度の事業計画策定にあたり、府の担当者と府内各市町村との意見交換会を順次実施。枚方市に関しては、昨年11月21日に伏見市長ら市幹部から府政の諸課題について要望がありました。



枚方市からの要望を受ける

このうち▽急傾斜地など危険箇所等への対策▽防犯カメラ設置に対する財政措置▽府から移管された保健所の運営支援▽新名神高速道路と淀川架橋をはじめアクセス道路の整備▽第二京阪道路と関連道路の供用後の対策▽児童虐待の防止体制強化への支援――など重点項目について府側から取り組み状況を聴取し、市側と意見交換を行いました。

私からも、府の対応が進むよう強く申し入れ、とくに新名神に伴う淀川架橋などの整備については、一般質問で取り上げました。(裏面参照)また、急傾斜地崩壊対策については、御殿山・渚本町地域からの要望を受けて現地を視察し、府に早急な対応を求めました。

同日は、交野市との意見交換会も行いましたが、第二京阪道路の料金体系の見直しやアクセス道路の整備、府道交野久御山線の整備、天野川の環境整備――など、枚方市と関連する広域的な課題も多く、交野市の要望



渚本町地域の急傾斜地を視察

に対し、私からも府の対応を強く求めました。  
今後も引き続き、府と両市政のパイプ役として、要望実現を強力に働きかけていきます。

### 総務委員会で視察 国際都市大阪のイメージアップを

府議会総務常任委員会では、2月5日、6日の両日で、大阪が国際都市としての機能を高めるために必要な取り組みについて東京都の先進事例を視察しました。

視察先と内容は①三菱地所株式会社▽国際戦略総合特区エリアマネジメント事業について▽大手町・丸の内・有楽町地区スマートシティ事業について▽ビジネスコンシェルジュ東京▽ビジネスコンシェルジュについて▽東京開業ワンストップセンターについて③一般財団法人森記念財団▽世界の都市総合カラランキングから見える大阪の現状と課題について④東京臨海広域防災公園▽臨海広域防災体制の整備状況について▽防災体験学習施設(そなエリア東京)について――などです。



東京開業ワンストップセンターで



世界の都市総合カラランキング

大阪は、世界の都市総合カラランキングでは22位(東京は3位)であり、今後、国際都市としての機能を高め、イメージアップを図るための都市戦略を検討していくためにも、大いに参考となる視察でした。

### 議員連盟の活動 日露友好親善議員連盟・私学振興議員連盟

超党派の日露友好親善議員連盟と私学振興議員連盟の会長として、今年度もそれぞれの議連活動に取り組みました。日露友好親善議連は3月3日、リャポフ・オレグ在大阪ロシア連邦総領事を来賓に迎え、大阪市内のホテルで総会及び懇談会を開催。議事後の、藤本和貴夫・大阪日口協会理事長が、プーチン大統領来日後の日露情勢などについて講演しました。経済交流では、府の友好交流都市でもある沿海地方・ウラジオストクの自由港などが注目され、企業進出など交流拡大の可能性が期待されており、今後も議連として友好促進を図っていきます。



リャポフ総領事を迎えて議連総会

一方、私学振興議連では、私立中学校高等学校連合会・私立学校振興協会役員と意見交換を重ね、私学助成の充実に関する国への意見書案の取りまとめ等を行いました。また、議連を代表して1月26日の大阪私学振興大会で挨拶しました。



大阪私学振興大会で挨拶



# 副首都・大阪の実現と 枚方の都市機能強化に向けて

※詳しくは府議会ホームページをご覧ください。

昨年9月定例府議会終盤、12月15日の本会議で一般質問を行いました。とくに枚方市域では、未来通信3号でお伝えしたように、新名神高速道路とそのアクセス道として(仮称)枚方新大橋が整備されるため、周辺道路を含めた交通ネットワークの再整備が不可欠です。同時に、40万都市にふさわしい枚方市駅周辺再整備も急がれます。さらに、万博誘致の拠点としてのベイエリアや水都大阪と連動させた淀川舟運の復活と枚方宿の賑わい創出も、枚方の魅力づくりに欠かせない施策であり、こうした視点から知事はじめ府理事者の考えを質しました。また、10月14日には総務常任委員会において府の新公会計制度や消防組織の一元化などについて質問しました。

## 府議会本会議で一般質問(要旨)

### (仮称)枚方新大橋の早期整備と京都守口線の拡幅等について

**Q** 淀川の枚方大橋から約5キロ上流の牧野高槻線の橋梁の事業化が府の都市整備中期計画で確定した。橋は、新名神高槻ジャンクションへのアクセスに位置づけされており、平成35年の新名神完成後の交通状況を考えて、橋の早期供用開始と、接続する府道京都守口線の4車線への拡幅は不可欠である。整備に向けた取り組みは?

**A** 【都市整備部長】新たな渡河橋は、枚方大橋に集中する交通の分散や渋滞緩和、枚方市や高槻市をはじめ地域間の交流促進や防災面の機能強化等に寄与するものである。整備にあたり、橋梁本体とあわせて、接続する京都守口線の必要区間で4車線に拡幅するなど、周辺道路の充実強化を図る。引き続き、関係機関と連携し、新たな渡河橋の一日も早い完成に向け、着実に取り組む。



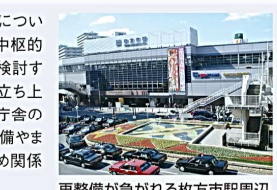
新名神と枚方新大橋(牧野高槻線)ルート

**要 望** 橋の開通は、地域の活性化につながる。枚方側の橋の接続部分は、府道京都守口線に沿って府の下水処理場や府営住宅などの公共用地があり、利活用しやすい場所である。交通結節点として、高槻と連動した賑わいの拠点としての活用を要望する。

### 枚方市駅周辺の再整備事業について

**Q** 枚方市駅周辺の活性化を図るため、再整備を早急に始める必要がある。市のビジョンでは、市役所とあわせて国の機関や北河内府民センターを集約し、行政サービスがワンストップで受けられ、コスト削減につながる合同庁舎化が提案されている。また、民間事業者からもプランが示され、これらを含めた検討がなされている。北河内地域の効果的なまちづくりの視点に立てば、府もこれに積極的に関わるべきかと考えるが見解は?

**A** 【政策企画部長】北河内府民センターのあり方については、ファシリティマネジメントの視点と枚方市中核的な機能を担うまちづくりの視点の両面を踏まえて検討する必要がある。今後、国、市、民間事業者などで立ち上げたワーキンググループで再整備の議論を進め、庁舎の建替えに係るコストにも配慮し、市駅周辺の再整備やまちづくり全体との整合性が図られるよう、市をはじめ関係者の意見も聞きながら検討を深める。



再整備が急がれる枚方市駅周辺

### 振り込め詐欺など特殊詐欺対策について

**Q** 府内において、振り込め詐欺などの特殊詐欺の被害が増加している。高齢者が長年にわたって蓄えた資金をだまし取る、卑劣かつ悪質な犯行で許すことができない。府内における特殊詐欺の現状と被害防止対策は?

**A** 【警察本部長】11月現在の認知件数及び被害金額は、過去最悪であった昨年の被害を超えており、まさに「非常事態」といふべき危機的な状況である。対策としては、安まちメールなどを活用して具体的な被害防止対策の情報を提供するとともに、自治体・マスメディアと連携した幅広い広報を行っている。

**Q** さらに効果的な対策を進めるには、警察の取り組みだけでなく、自治体において被害を未然に防ぐ対策をとる必要があるが、府の取り組みは?

**A** 【知事】広報啓発を行うとともに、地域安全センターで活動している防犯ボランティアとも連携し、地域に密着し、工夫を凝らした様々な活動で直接高齢者に声掛けを行うなど、被害の防止を図っていく。

### 地域防災基金の消防団への活用について

**Q** 岩井コスモHDからの、府への寄附を原資に、地域防災基金が創設されたが、地域において消防力強化の一翼を担う消防団の活性化に活用できる仕組みづくりを進めるべきかと考える。今後の取り組みについてどう?

**A** 【危機管理監】今後、地域防災基金については、企業、府民から幅広く寄附を募りながら、府内市町村、消防関係団体の意見を踏まえ、来年度以降、消防団や自主防災組織などの地域防災力の充実強化につながる事業に活用していく。

●一般質問では他に、新公会計制度に関し、職員のリテラシー向上と、財務諸表の行政事務への活用等について質問しました。

## グランドデザインがめざす水都大阪について

### 「グランドデザイン・大阪都市圏」について

**Q** 淀川の舟運を通して京都・伏見からベイエリア、関西国際空港まで広域につなぐことができれば、新たな人・モノ・情報の流れが生まれ、「水都・大阪」らしさを活かした大阪の成長・発展に寄与する。策定された「グランドデザイン・大阪都市圏」では、こうした新たな発想による大阪都市圏全体の広域連携型・都市構造の実現をめざしているが、見解は?

**A** 【知事】「グランドデザイン・大阪都市圏」は、東西二極の一極を担う大阪都市圏を実現するため、大阪湾ベイエリアを含む関西全体を視野に、淀川など広域インフラを活かした都市空間の方向性を示すものである。具体化に向けては、行政の規制緩和と民間主導により、人・モノ・情報・投資呼び込み、圧倒的な魅力を備えた都市空間の創造をめざす。

### 淀川舟運の活性化によるまちづくりについて

**Q** 枚方市は、東海道56番目の宿場町として栄えた歴史を踏まえ、伏見から八軒家まで往来した三十石船など舟運で賑わった当時の港・枚方浜の復活をめざしている。淀川からの景観形成など、川に向かった魅力あるまちづくりを進める必要があるが、規制緩和と民間主導を組み合わせたまちづくりをどう進めるのか?

**A** 【住宅まちづくり部長】枚方、守口で、舟運を活かした京街道沿いのまちづくりに向けた調査・検討を行うとともに、さらに船着場と枚方宿・守口宿を結ぶアクセスや周辺景観の創造、さらに必要な規制緩和等について、国や沿川市町、民間企業、地域住民などともに取り組み、淀川舟運活性化を契機とした魅力あふれる都市空間創造を進めていく。



多くの人で賑わう「五六町」



舟運フォーラムで地元の思いを伝える



淀川に10か所整備された船着場

### 河川占用料について

**Q** 今後、舟運に伴う賑わいや、水辺の魅力づくりイベントなどで、NPOや民間団体による河川敷の活用が活発になることが予想される。河川敷を賑わい空間として使いやすくする必要があると考えるが、今後の河川占用料の取り扱いについては?

**A** 【都市整備部長】河川占用料は、条例に基づき算定しており、公益性が認められる場合には料金を減額している。河川敷を利用した賑わいづくりがより一層活発になるよう、治水面での安全性に配慮しながら利用者の視点に立ったきめ細やかな対応をしていく。



## 総務常任委員会で質問(要旨)

### 新公会計制度の活用について

**Q** 従来の官公庁会計の仕組みに、複式簿記、発生主義という企業会計の考えを取り入れた新公会計制度は、財政の「見える化」を図る重要なツールである。事業の成果とコスト等と関連させて分析するなど、行政運営に活用していくべきかと考えるが、府の取り組みは?

**A** 事業の成果とコスト等と関連させた経年データの整理や、老朽化率などの各種財務指標を各部署に提示するとともに、分析、活用するための具体的なアプローチ方法を専門家の知見も得ながら提供していくことなどを通じて、各部署のさらなる財務マネジメントの強化につながるよう努めている。

**Q** 新公会計制度において財務諸表の活用については、財務管理や施設管理など、様々な活用の仕方があるが、予算編成時における活用を検討できないか?

**A** これまでも予算編成における活用を促してきたが、府県により事業のくりが異なり比較困難などの課題もある。今後、他府県のデータ蓄積などを踏まえて、会計局と連携しながら活用を検討していく。

### 府内消防組織の一元化について

**Q** 府内の消防を知事のもとで一元管理する「大阪消防庁」を設立し、府域の災害はもとより、西日本全域の有事に対して機動的に対応できる体制の整備をめざしているが、各消防本部から一元化後の全体像やメリット、デメリットが見えにくいとの意見がある。一元化の効果や財政負担など具体的な中身を示す必要があるが、今後の進め方は?

**A** 今後、一元化を含む広域化のいくつかのバターンを想定した財政面を含むメリット、デメリットを整理、検討するとともに、市長会、町村長会を通じて首長の考えを聴取していく。年度末を目途に「消防力強化のための勉強会」としてのとりまとめを行っている。



雨の中、淀川河川公園で消防出初式

## 総務常任委員会でのその他の質問項目

- ファシリティマネジメントについて
- 人事評価制度について
- 府庁のIoT化について



地域活動  
牧野地域の活性化に積極的に取り組む 吹雪の中を点火! 天の川七夕星 牧野愛する商店会が「まきの市」を開催 まつりの会の「天の川とどまつり」 地元の保育園の運動会で応援 可愛い子どもたちに大きな声援が 地元小学校での防災訓練に参加 いざという時のために万全の備えを 地域福祉に取り組んでおられる 「わたしの家すやま」の感謝祭で挨拶